

## 掲示板 その2



### ヤマギシだより ～ 春風のように ～

『ガラス越しの日差しは温かく心はずみずみ。この部屋で私の出来る唯一の仕事、毛糸の編み物をするのです。…編み上がったセーターはどんなに下手でもその喜びは大きくて、なでてはうれしさを満喫するのです。…耳鳴りがしたり、目がかすんだり、右手が引きつってブルブル震えても気にせず、病気と私の思いを切り離して、頑張っています。寝たきりになったらどうしようなどと取り越し苦労はやめます。今を大事にして、短くなった余生を心豊かに送りたいと願いながら、編み針を動かしています。この服の編み上がるまで命はあるか——編み初めにはいつでも思う。』  
これは昨12月13日、97才の天寿を全うされた内藤操おばあちゃんが、20年前、新聞に投稿した『老いの生きがい』という文の一部です。昭和33年、夫の謙さんと共に全人幸福社会づくりに参画して以来、女の人として春風のように明るく温かく、又積極的に生きた操さん。右半身不随の30年間も含め、いつも“われ、ひとと共に繁栄せん”の生き方を踏襲してきたおばあちゃん。私もおばあちゃんの生き方を受けついで、仲良し社会をつくっていきたくです。本年もよろしく願い申し上げます。  
(新村由美子)

【村のことでのお問い合わせは TEL45-5550 (村人窓口) へお気軽にどうぞ】



### 「ときめきサロン」

☆☆☆☆ コーヒー・紅茶はご自由にお飲みください ☆☆☆☆

毎週土曜日の午前中、壬生野地域まちづくり協議会（壬生の里 2 階）で『ときめきサロン』を開設しています。絵本・児童図書・小説等を読んだり、借りたり、机上作業をしたり、コミュニティーの場にしたり、地域のみなさんの共有の場としてとどんどご活用ください。お子さんにも是非お勧めください。下記の当番がお待ちしております。

月 日	「ときめきサロン」当番者	月 日	「ときめきサロン」当番者
1月 6日(土)	立山忠雄、古川早織、田中智代	2月 24日(土)	福森晋、五百田正一、古川早織
1月 13日(土)	山下謙一郎、川口浩哉、南出ゆう子	3月 3日(土)	北大路順信、三根久美子、川口浩哉
1月 20日(土)	中林正彦、上林健作、三根久美子	3月 10日(土)	宇藤和人、南出ゆう子、上林健作
1月 27日(土)	三根幸治、北出佳子、五百田佳子	3月 17日(土)	北村節子、澤野徳子、北出佳子
2月 3日(土)	藤田 真、福森和子、松村幸代	3月 24日(土)	落合ちず子、五百田佳子、松村幸代
2月 10日(土)	立山忠雄、澤野徳子、福岡光善	3月 31日(土)	上野寛、福森和子、田中智代
2月 17日(土)	柴原長生、福島裕美子、福原淳	☆☆☆☆ 19年度も頑張ります ☆☆☆☆	

### 編集後記

壬生野地域の皆さん！今年のお正月は、いかがお過ごしになりましたか？猪突猛進、すべてが充実した一年になるといいですね……。まちづくり協議会も、今年から4年生。皆様方の暖かいお力添えにより、たくましい協議会にお育て頂きますよう宜しくお願いします。

猪の 守るふるさとや 初明かり 秀峰

広報公聴実行委員会では、地域の情報を募集しています。ご紹介頂けるニュース等がございましたら、お近くの編集委員までお知らせ下さい。  
(委員長)

編集委員 居附秀樹 宮田美智子 増田裕充 塚本正子 渡部税子 中林豊 新村由美子  
三根久美子 高橋大輔 梅田佳生 山本眞司

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会  
事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内  
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL http://www.mibuno.net



# コミュニティ壬生野 第22号



壬生野地域まちづくり協議会広報

平成19年1月1日発行

## - 年頭のご挨拶 -



会長 山本 和生

明けましておめでとうございます。健やかに輝かしい、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい年とともに、私どもの周辺には教育の再生、格差の是正、税制の改正など現状を改めようとする動きが活発であります。現在の状況がよりよくなるのであれば、両手を挙げて賛成もいたしますが「改正」、「改悪」は認識や立場を損なえば、逆転する可能性を秘めており、世阿弥の言う「観の目強く 見の目弱く」を師に、確かな視線を入手した情報でじっくり観て行く必要があります。

さて、わが壬生野地域まちづくり協議会は、今年で設立から4年目に入ります。お蔭様で目下、各専門委員会、各実行委員会ともにそれぞれの事業を計画通りに遂行しております。平成19年度は、各委員会所管の事業を原則踏襲することになりますが、本年度は特に鋭意検討の上、重点的に取組む事業を1つ乃至2つに絞り込んで展開する方針で、地域住民の皆さんの積極的参加を希望する次第であります。

また、平成20年4月に完成が予定される壬生野地区市民センターについて、まちづくりの拠点化ができるよう、地ならししてまいりたいと考えております。

ところで、壬生野地域まちづくり協議会の不十分な対応を強いて挙げるとすれば、次の2つになるかと思えます。その1つは、地震等に関する防災訓練の不足、その2つは、新農政に対する対応の遅れであります。安心・安全のまちづくりのために対応を強化してまいります。

終わりになりましたが、壬生野地域の住民のみなさんの今後一年のご多幸とご健勝をお祈りするとともに、微力ではありますが地域の皆様の住みよい住んでよかつたまちづくりに全力投球して参りますので、宜しくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。新年の御挨拶と致します。





# クリーン作戦へのご参加・ご協力ありがとうございました！

昨12月10日、年末環境美化活動“クリーン作戦”の声かけで、地域内に放置されたゴミが皆さんの手で一つ一つ拾い集められました。

各地区毎で分別され、翌朝、軽トラ4台とトラック1台分が、リサイクルセンターへ搬入されました。新年を迎える準備のスタートにさせていただけたでしょうか。

各地区の様子を拝見しようと、写真を撮らせてもらいながら巡ってみました。日曜日の静かな朝、9時前からビニール袋とゴミばさみを手にしたお父さん方、子供のいる家族連れ、年輩のお母さん方、小学生の男の子達、中学生の女の子達等々。老若男女が自発的に連れだってゴミ拾いしている姿を、そこ、ここに見うけました。全員の写真を撮らせてもらいたくなるような、ほのぼのとした光景…、そして集積箇所には、男の人達の手際よく、頼もしい姿。“環境美化”一元のあるべき姿に戻すという地味な営みの中に、日常の暮らしの中で培われてきている郷土愛とか人と人の仲良しとか、自然に現れて来るのが感じられ、このような行事も大切に、次代へ繋げていきたいと思いました。



(生活環境委員会より)

## ◆各委員会からの報告◆

### 【人権同和合同委員会からの報告】

今年度、人権同和専門委員会は、人権研修実行委員会と統合し、「人権同和合同委員会」として活動しています。

人権問題解決の為の取り組みは、「聴く」だけの講演会形式の研修だけでなく、「自分の思いや体験を自分の言葉で伝える」話し合い形式の研修も有効で、動員型の大型イベントではなく、一人ひとりが自分自身を振り返り、自分の中の差別性に気付くことが重要であると考えます。

今年度、川西青葉台区では人権・同和问题地区別懇談会モデル事業に取り組まれています。3年前、企業の所有する住宅に中国人研修生が入居しました。ゴミの分別収集が厳しくなるにつれ、中国人研修生とのゴミに関わるトラブルが多くなっていきました。そこで、中国人研修生に対する日本語教育と区民に対する日本語教育、区民との交流会など「誰もが住みよいまちづくり」を目指して、様々な取り組みが行われています。

今後、本委員会では、各区人権啓発推進委員代表・事務局長との懇談会や各区地区別懇談会が効果的に行われる為の情報の提供などの支援を実施していく予定です。

### 【地域防犯実行委員会】

去る12月7日夕方、伊賀警察署管内の各種団体の参加により、年末年始特別警戒取り締まりと年末の交通安全県民運動の合同出動式が開催されました。

会場となった伊賀市上野丸之内の伊賀上野城本丸広場には、警察をはじめ、消防、行政、各地域の自主防犯組織など関係者約300人が集まり、年末年始に向けて犯罪や事故の抑止への取り組みの強化と連携・協力が呼びかけられました。

壬生野地域まちづくり協議会からも青色回転灯パトロール車2台と防犯実行委員4名が参加し、出動の後、伊賀地域と大山田地域に分かれてパトロールを実施しました。

## 掲示板 その1



### ■ 外国出身の方との交流会 ■

12月3日、希望ヶ丘区で外国出身の方と交流会を持ちました。初めて取り組む内容なので自治会役員会でいろいろ話し合い、楽しく交流ができるということで餅つき大会と食事会に決めました。招待状も日本語とポルトガル語の2種類を用意しました。杵と臼を借りてきたり、餅つきを良くご存知の年配の方にご指導を仰いだりして、多くの方々の協力を得て実現しました。当日はペルー、韓国、ブラジル出身の家族、自治会役員や一般の方々を含め総勢65名の参加でした。最初に杵と臼で餅をつき、それから食事会で楽しい話で盛り上がりました。この取り組みは好評で来年も交流会を続けてほしいという感想もありました。(希望ヶ丘区長)



### ■ “おもちつき”と、“しめ縄作り” ■

12月3日、川西公民館において、この地域の恒例行事である「もちつき」と「しめ縄作り」が行われました。参加した子供達（川西及び青葉台で33名）にこの地域の良さを感じてもらおうと、子ども育成会、更生保護女性の会、老人会の人達が協賛して、毎年この時期に行っています。育成会のお父さんが杵を持ち、更女の方が手返しをして見せ、その後、子供達は順番に重い杵を持ち上げてつく子もいれば、育成会の人に助けをもらいながらついたりしました。子供達は、つくたての餅にあんこ、きなこ、ふりかけなどをまぶして、更女の人達が作った豚汁や漬け物と一緒に美味しく食べていました。又、午後からは、老人会の人達の指導で“とんぼ締め”というしめ縄作りに挑戦をしました。縄を依るのに一苦労している子もいたようですが、出来上がったしめ縄を見て、誇らしげな笑顔がこぼれていました。



### ■ 男女共同参画セミナーに参加して ■

11月30日、240名の参加者の中、「三重県男女共同参画社会の実現に向けて」と題していがまち女性グループの“WAIWAIびおら”による寸劇「いつまで男社会??」と三重県男女共同参画センター所長の鈴木雅子さんの講演がありました。寸劇は、WAIWAIびおらの会員2名と、いがまち愛の里で毎月開催されている「男の料理教室」の男性メンバー3名が演じました。内容は、ある町の集会に出て来た住民の男女が交わした言葉のやりとりでユーモアと実際にあるのでは、と考えさせられる寸劇でした。鈴木所長の講演はクイズを入れながら現在の少子高齢化の社会や家庭に適合する男性と女性でなければならないという内容のお話しでした。今までの社会通念をなくして、お互いが尊重し合える社会にしていきたいと思いました。

